

<TPP協定に伴う農畜産物の生産額への影響>

種別	生産額 (百万円)	生産量 (t)	減少額 (百万円)	減少率 (%)	備考	<参考> 北海道		
						生産額 (百万円)	減少額 (百万円)	減少率 (%)
耕種	小麦	2,109	42,080	327	15.5%	・ 全て競合するものとして算出		
	豆類 (小豆) (いんげん)	1,706	4,751	0	0%	・ いずれも競合せず、価格低下はないと想定		
		278	993	0	0%			
	小計	1,984	5,744	0	0%			
	でん粉原料作物	1,273	5,776	92	7.2%	・ 調整金の制度対象と制度対象外(片栗粉用、水産練り製品等)に二分、制度対象外が競合し、影響あるものとする ・ 制度対象外の生産量については道の比率から按分		
	砂糖	7,458	37,292	261	3.5%	・ 競合はしないものの、加糖調製品等の関税割当設定等による価格下落や高糖度原料糖の調整金減額削減により減少するものとして算出 * 生産量は制度対象外のみ、生産額は制度対象分も含む		
	米(道のみ)					144,200	0	0%
	加工用トマト(道のみ)					1,000	0	0%
りんご(道のみ)					1,500	0(4~8)	0%	
計	12,824	—	680	5.3%	338,600	9,700	2.9%	
畜産	牛乳乳製品	3,958	44,879	228 ~ 328	5.8% ~ 8.3%	・ 牛乳乳製品の各品目(チーズ、バター、生クリーム等)については、道の比率で按分 ・ 飲用牛乳を含む全生産量及び生産額については市独自の調査によるもの		
	牛肉	1,220	1,094	85 ~ 171	7.0% ~ 14.0%	・ 出荷頭数に枝肉換算430kg/頭(と畜場資料)、部分肉換算率70%(道試算)で按分 ・ 道内格付(肉質等級)の割合として84%が競合し、16%が競合しないものとして按分し、それぞれが一定程度下落するものとして算出		
	豚肉	533	904	20 ~ 39	3.8% ~ 7.3%	・ 出荷頭数に枝肉換算73kg/頭(と畜場資料)、部分肉換算率70%で按分 ・ 銘柄豚はいないため、全て競合するものとして算出 * 道では銘柄豚を40%として算出		
	鶏卵	23	118	0 ~ 0	0% ~ 0%	・ 減少額は百万円未満		
	鶏肉(道のみ)					24,000	100	0.4% ~ 0.8%
計	5,734	—	333 ~ 538	5.8% ~ 9.4%	458,400	24,000 ~ 38,100	5.2% ~ 8.3%	
合計	18,558	—	1,013 ~ 1,218	5.5% ~ 6.6%	797,000	33,700 ~ 47,800	4.2% ~ 6.0%	

<主な試算方法>

- 北海道の試算方法、単価(「牛乳乳製品」を除く)などに即して、農畜産物の生産額の影響を試算。
- 品目ごとに輸入品と競合する部分と競合しない部分に二分し、それぞれの影響について算出。

- * 対象とした農畜産物は、北海道が試算した13品目とした。
- * 生産量は、市のH25年~H27年の平均、生産額は「牛乳乳製品」以外は道と同じ単価で算出、「牛乳乳製品」は市独自の調査によるもの。

<生産額と農業産出額との違い>

- 今回試算した生産額 18,558百万円は、北海道が使用した単価に基づいて再計算していること及び経営所得安定対策交付金 約6,200百万円、影響を受けないとされるその他野菜 約5,600百万円などを含んでいないため、市の農業産出額 30,342百万円(H25年~H27年の平均)と異なる。